63 期生

３年生学年だより

豊中市立第五中学校　2017 年２月 16 日(木)　No.31

私立入試が終わりました

13 日の全校朝礼の後、３年生だけその場に残る形で学年集会が行われました。もともと集会の予定はありませんでしたが、受験にあたり少し心配な出来事もあったのでこのような形で残ってもらうことになりました。

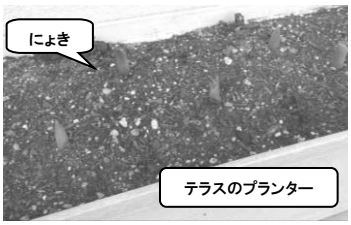
今回で進路担当「五中に来て６回目」の中先生よりお話がありました。

人生で初めて、自分のこれから先を決める大きな決断をし、受験に臨んだみなさん。すごく緊張し、疲れたのではないでしょうか。今回の受験にあたり、いくつか気になることがあったので話をしておきたいと思います。

気になったことのまず一つ目は、「あの子どこなん？」「あの子どうやったん？」と、受験前後、興味本位でだれかの話をする姿が何度か見られたことです。今現在、入試の結果がすでに来ている人、まだ来ていない人、上手くいかなかった人や希望のコースに進めなかった人など、様々な状況の人がいるかもしれない、そういったことを何も考えず安易に行動するのではなく、いろいろと周りの人のことを考え、行動してほしいということです。中には、公立が第一志望の人もたくさんいますのでこれで終わり！という人ばかりではありません。自分はこの先どう行動するのか、これからの授業の受け方も含めてしっかりと考え、3 月まで頑張り続けてほしいと思います。

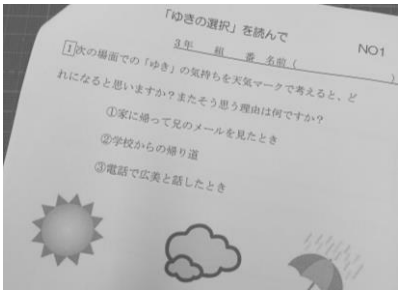
2つ目に気になったことは、受験当日のことになりますが、集合時間に遅れそうになった人がいたということと、受験会場である高校へ不要物を持って行った人がいたということです。どちらの出来事も、一人一人の心の油断からおきてしまったのではないかと感じました。受験日当日、時間に余裕をもって行動するということや「受験の心得」を思い出し行動するということ、その他、卒業を迎えるその日まで、様々な場面で自分の心の油断が出てこないよう最後までみんなで協力し、頑張っていってほしいと思います。

初心忘るべからず



～最後の聞き取り学習に向けて～

２月 24 日に酒井留美さん、重本洋輔さんのお二人からお話を聞かせていただく予定です。各クラスで取り組んでいる事前学習ですが、その中で登場する主人公「ゆき」の物語から“自分の生き方を選択すること”について改めて考えほしいと思います。なお、どの意見が正しい・正しくないということではなく、いろいろな意見を出し合い、自分と仲間との関係にあてはめ、自分なりの意見を持つということが今回の学習の目的となっています。真剣に取り組みましょう。


「ゆきの選択」を読んで

3年　組　番　名前（　　）　NO1

1 次の場面での「ゆき」の気持ちを天気マークで考えると、どれになると思いますか？またそう思う理由は何ですか？

①家に帰って兄のメールを見たとき

②学校からの帰り道

③電話で広美と話したとき

1 年生の時も聞き取り学習でお世話になりましたね！！

2015 年 7 月 9 日　とよなか人権文化まちづくり協会

酒井留美さん

「夢バトン～はみごのないまちへの思い～」